

アジア経営学会第 15 回全国大会

大会プログラム

統一論題

「アジアにおけるグローバル化と企業経営の新段階」

2008 年 9 月 12 日（金）～9 月 14 日（日）

福岡大学七隈キャンパス

大会準備委員会事務局 福岡大学商学部 川上研究室

住所 〒814-0180 福岡県福岡市城南区七隈八丁目 19 番 1 号

TEL 092-871-6631（代表）

FAX 092-864-2938（商学部共同研究室）

電子メール：y-kawaka@fukuoka-u.ac.jp

アジア経営学会第15回全国大会プログラム

9月13日(土)

受付開始：9：30 受付場所：A棟1階 A101

10：00～10：10 開会挨拶 川上義明・大会実行委員長（福岡大学） （A201）

10：20～12：05 自由論題報告(1)（報告25分、質疑10分）

第1セッション(A棟601番教室)	第2セッション(A棟603番教室)	第3セッション(A棟615番教室)	第4セッション(A棟617番教室)
<p>司会 片岡信之(桃山学院大学)</p> <p>1. 荒井久夫(専修大学大学院) 台湾IT産業の発展と部品製造業の課題ーコネクタ製造業のフィールド調査からー</p> <p>2. 陸 雲江(龍谷大学大学院) 台湾IT企業の中国大陸進出とその技術移転効果に関する一考察ー先進諸国と比較してー</p> <p>3. 金 恵珍(龍谷大学・大阪経済法科大学客員研究員) 日本および韓国のDRAMにおける技術差異</p>	<p>司会 金 亨洙(久留米大学)</p> <p>1. 李 澤建(京都大学大学院) 中国車のロシア市場への進出戦略及び教訓</p> <p>2. 禹 慶封(京都大学大学院) 韓国中古車市場における企業の成功と失敗事例</p> <p>3. 塩地 洋(京都大学) 海外における日系企業のディラー経営</p>	<p>司会 植竹晃久(白鷗大学)</p> <p>1. 金 美廷(同志社大学大学院) 韓国の内部統制の現状と改善方向</p> <p>2. 山岡 暁(京都大学大学院) 日本とアジアの持株会社とコーポレート・ガバナンス</p> <p>3. 李 文忠・野上健治・仁科信春(福岡工業大学大学院) 日本と中国におけるCSR報告書の動向</p>	<p>司会 肥塚 浩(立命館大学)</p> <p>1. 竇 少杰(同志社大学大学院) ポスト業績賃金制の性格ー現在の中国における賃金制度ー</p> <p>2. 金 光遠(京都大学大学院) 広東型委託加工企業の過去と現在</p> <p>3. 邱 文仁(台湾遠東科技大学) 日系企業の経営現地化の現状と課題ー台湾の日系企業に関する一考察ー</p>

12：05～13：10 昼食（A棟203、学内食堂） 理事会・評議員会（文系センター棟15階 第7会議室）

13：20～14：30 自由論題報告(2)（報告25分、質疑10分）

第5セッション(A棟601番教室)	第6セッション(A棟603番教室)	第7セッション(A棟615番教室)	第8セッション(A棟617番教室)
<p>司会 風間信隆(明治大学)</p> <p>1. 高橋美多(京都大学大学院) 中国のソフトウェア産業の戦略的位置</p> <p>2. 王 衍宇(桃山学院大学大学院) ハイアールにおける中国国内でのブランド戦略</p>	<p>司会 上田義朗(流通科学大学)</p> <p>1. 岩本敏裕(立命館大学大学院) VTR産業の生成ー製品中核技術に焦点を当てた日本企業の競争優位ー</p> <p>2. 飯島正義(日本大学) ATM(現金自動受け払い機)事業の中国展開と国内工場の再編ーOKIを中心としてー</p>	<p>司会 大西勝明(専修大学)</p> <p>1. 柯 莉(日本大学大学院) 中国企業における環境マネジメントの現状と課題ー事例研究を通じてー</p> <p>2. 鈴木由紀子(日本大学) 日本企業のCSR調達の課題ー日用雑貨業界の企業を中心にー</p>	<p>司会 池上恭子(熊本学園大学)</p> <p>1. 林 徳順(日本大学大学院) 企業の海外投資に対する租税政策の影響ー日本及び韓国の納税主体性についての比較考察を通してー</p> <p>2. 小林 守(専修大学) 中国のFTA政策の特徴と華南地方に進出する日系企業の対応について</p>

14：40～16：40 記念講演（A棟201）

- 江藤仁章(福岡県中小企業団体中央会)
アジアからの「労働力」移入と九州企業
 - 永池克明(久留米大学)
グローバル経営の新潮流とアジアー新しいビジネス戦略の創造ー
- 司会 川上義明(福岡大学)

16：50～17：50 会員総会（A201）

18：00～19：30 懇親会（文系センター棟16階 スカイラウンジ）

9月14日(日)

受付開始：9：30 受付場所：A棟1階 A101

10：00～12：10 統一論題（A201）（問題提起10分、報告35分・質疑5分／人）

アジアにおけるグローバル化と企業経営の新段階

問題提起

中川涼司（立命館大学）

報告

1. 秋野晶二（立教大学）

分業構造のグローバルな変化とアジア企業－EMSの検討を通して－

2. 中原裕美子（九州産業大学）

パソコン産業における製品開発のグローバル化－台湾を核としたネットワーク形成－

3. 中川涼司（立命館大学）

中国企業の『走出去』プロセスとクロスボーダー M&A

司会 市田陽児（日本大学） 夏目啓二（龍谷大学）

12：10～13：10 昼食（A203、第1食堂） 理事会（文系センター棟15階 第7会議室）

13：10～14：20 自由論題報告(3)（報告25分、質疑10分）

第9セッション(A棟601番教室)	第10セッション(A棟603番教室)	第11セッション(A棟615番教室)	第12セッション(A棟617番教室)
司会 稲村 毅（神戸学院大学） 1. 岡本義輝（宇都宮大学大学院） 研究開発（R&D）の国際移 転論－マレーシアにおける日 系企業・商品開発 R&D の実 証的研究－ 2. 韓 金江（京都創成大学） 日本工作機械工業の国際化 －90年代以降の状況を中心と して－	司会 小阪隆秀（日本大学） 1. 鈴木康二（立命館アジア太 平洋大学） ダノンの中国戦略の失敗とア ジアン・プライド 2. 金 玉仙（上武大学） サムスンの東アジア経営戦略 －中国石油資源開発を巡って－	司会 川井伸一（愛知大学） 1. 朱 永浩（環日本海経済研 究所） 中国東北振興政策の再考－北 東アジア地域協力にとっての 重要性－ 2. 千 龍範（広島大学大学院） 中国石油企業の新展開－バイ オ燃料市場の形成とエネルギー 供給構造の変化－	司会 柳町 功（慶応義塾大学） 1. 三嶋恒平（熊本学園大学） 日本企業による途上国産業の 形成に向けた分析視角－相対 的後進性、製品・工程ライフ サイクル、企業行動・企業間 分業関係－ 2. 熊倉広志（専修大学） 進出方式の高度化と標準化・ 適合化の進化に注目した知識 移転モデル－キッコーマンの グローバル展開の成功－

14：30～16：30 統一論題討論会（A201）

アジアにおけるグローバル化と企業経営の新段階

コーディネーター：市田陽児（日本大学） 夏目啓二（龍谷大学）

討論者：林 偉史（立教大学） 岡本博公（同志社大学）、上記統一論題報告者

16：30 閉会挨拶 橋本輝彦（立命館大学） 川上義明（福岡大学）

※大学および大学周辺には駐車場はありません。

バス停



懇親会会場
16Fスカイラウンジ

「エコライナー」とは停車バス停の少ない急行バスの名称です。

のりば番号		行先番号	のりば	降車バス停	通常所要時間
天神 周辺	10	(12) <small>1306 34分</small>	天神協和ビル前	福大前	30分
		(14)		福大薬学部前	35分
		(14) (14)	天神警固神社・三越前	福大薬学部前	25分
薬院駅 周辺	16 <small>1306 34分</small>		薬院駅前	福大前	30分
		(18)		福大薬学部前	30分
西新周辺		95	藍山口	福大薬学部前	25分
博多駅 周辺	3	(12)	博多駅交通センター	福大前	45分
		(14)	博多駅交通センター	福大薬学部前	50分
	4	(14)	博多駅交通センター	福大薬学部前	40分
	A	(16) <small>1306 34分</small>	博多駅前	福大前	40分
		(18)	博多駅前	福大薬学部前	40分

※時間帯により、交通混雑が予想されますので、所要時間は目安としてください。

※のりば番号と行先番号は異なります。また、行先番号が同じでも行先が異なることがありますので、バス正面の行先(経由地)をご確認ください。

